

新型コロナウイルス対応 緊急支援助成 ひとりにしないさせない助成

申請団体・事業一覧（全17団体）2021年5月14日現在

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人あんしん空き家管理ネット	栃木県	シングルマザー向けシェアハウス事業 【副題】住居の支援と同時に空き家問題解決	管理している空き家の中から、シェアハウスに再生しやすい物件を選択して、シングルマザー向けシェアハウスを建築します。佐野市・足利市の生活福祉課等と連携して住まいで困っているシングルマザー世帯を安価な家賃で受け入れします。lotと連動したスマートキーを導入することで、非接触のドアの開閉ができ、子供の帰宅情報もスマホから入手できるシステムを導入することで、お母さんが安心して働ける環境を整備します。また、入居者と地域住民の交流スペースを設け、地域の住民が子供の見守りをしたり、親同士が子育ての悩みをシェアできる環境を整備します。
NPO法人サロンみんなの保健室	栃木県	心身に不安のある方の無料健康相談と支援	1. 無料の健康相談と支援 活動日 火曜日・水曜日・木曜日 午後2時～6時 方法：対面による相談・電話による相談（孤立化防止のためできる限り対面によるカウンセリングを進めている） 支援者は有資格者（保健師・助産師・看護師・社会福祉士）シフトを組んで2人～3人体制 2. 健康維持増進のためのセミナーや交流会の実施 月に1回～2回：高齢者の虚弱の改善、生活習慣病予防、依存症予防、など企画する。講師は内部講師の他多職種と連携し依頼する。
特定非営利活動法人はばたき	栃木県	新型コロナウイルス対策環境整備事業	新型コロナウイルスの影響は当法人利用者とその家族に多くの不安と心配を与えている。通うことにより自分も感染するのではないかという思いは常にありその対応策としてマスクの着用・消毒・検温・換気・密にならない等を実践しているが、まだまだそれらの整備は不十分でそれらに加え飛沫防止用プレートや空気清浄機を整備することでよりきれいな空気の中で、そしてより安全な作業環境と生活環境を作り、利用を休止することなく安心して通ってもらえるようにしていく。具体的には作業場の各所、事務室、休憩室、カフェ、のホール、ランチルーム等に整備してそれを関係者に周知し、それを継続していく。
特定非営利活動法人 両毛伝統文化芸能振興会 足利ぶんか倶楽部	栃木県	MOON倶楽部 プロジェクト	ナプキン購入は月約1000円ほどかかり年間に換算すると少なくない出費になってしまう。コロナ禍等の家計の収入減に配慮して交換回数を減らす、代替品で我慢する等不衛生な状況を余儀なくされている子どもの現状がある。今回の助成企画で栃木県で「生理の貧困」に対するサポートの実施実現を目指したいと思った。また昨今再び注目を集めている天然素材で繰り返し使用でき経済的な布ナプキンも同梱することによって、新たな価値観に触れてもらう機会を作ろうと思っている。この企画をきっかけにサステナブルな社会作りに対する意識の喚起に繋がられるのではないかとされる

団体名	所在地	事業名	事業概要
小山フリースクールおるたの家	栃木県	小山フリースクールおるたの家運営事業	<p>コロナウィルスの影響で増加していると考えられる不登校の児童・生徒を迎え入れるため、人員を増やしてフリースクールを安定的に運営する。まだまだ低いフリースクール自体の認知度を高めるために積極的な情報発信を行い、必要とする方々に情報が届けられるよう継続的に取り組んでいく。またコロナウィルスによる社会の構造転換を念頭に、感染リスクを避けながら運動不足を解消していくことを目指し、自転車を活用した屋外でのアクティビティを増やしていく。最終的に学校が合わないと感じる地域の子どもたちにとっての選択肢の1つとして社会的に認知されることを目標とする。</p>
一般社団法人えんがお	栃木県	<p>コロナ禍で分断されたつながりの再構築事業 【副題】 コロナ禍における全世代参加型のまちづくり</p>	<p>高齢者の孤立の予防と解消に向け、屋外スペースも活用した地域サロンを実施していく。また、サロンに來られない方など、つながりの希薄化が想定される高齢者には定期的に電話でつながりや健康状態の状況確認を行うサービスを実施。対象者は、これまでの業務で得たつながりをもとに、行政と連携して必要な人に情報を届け、本人の状態を地域包括支援センターなどにも共有していく。必要に応じて訪問も行い、本人に必要なサービスへとつなげていく。加えて、障がい者向けのグループホームを開設（法人2棟目）。地域での受け皿としての機能だけではなく、地域サロンとも連携し、障害者が地域と関わりながら役割をもって生活する拠点を増やしていく。</p>
特定非営利活動法人うりずん	栃木県	重症障がい児者を新型コロナから守る取組	<p>新型コロナウイルス感染症収束の目途が立たない中、重い障がいをもつ子どもを安全安心にお預かりするためには、3密を避けるための十分な空間や換気、衛生物品や支援物品等の整備が必要となっている。また、家族同士の交流と親睦を目的とした催しも、時間や参加数を絞り、マスク着用と飲食をなくすなど感染予防の徹底した上で再開を予定しているが、その場合も衛生物品の整備が欠かせない。本事業によって、うりずんへ必要な衛生物品の整備し、利用者を安全安心にお預かりすることで、家族の日常生活の支援につなげていく。</p>
特定非営利活動法人光.JB	栃木県	人に会えない今だから人と繋がれる場所を	<p>新たなコミュニティの場を作るために必要不可欠なライフライン(インフラ)を整える・畑づくりに欠かせないトラクターの導入や食材を調達する保冷車の導入・収穫作業終了後に必要となるシャワーなど汗を流せる場所を作る。(収穫ができない時期には作付けの体験等検討) 設備が整い次第農業体験ができるバーベキュー場を実施する ポストコロナを見据え、密とならない場所での人との触れ合いの時間、また現在個人的に飼育している山羊やアヒルなど動物取り扱いの許可をおろせるよう準備し、動物との触れ合いの場も提供していきたい。子どもだけでなく様々な年代の方が集えるような場所を目指します。</p>
特定非営利活動法人日本ライフナビゲーター協会	栃木県	ハッピープロジェクト	<p>当NPOの人材の育成、活動の拡大を行い、社会貢献事業、雇用拡充事業、健全育成事業をより多くの方に行き渡るようにインターネット及び対面での各事業を拡大します。これを行うことにより、現在不安やストレスを感じている方や、職を失った方など、学習ができない環境の子ども達など、多くの人々に貢献出来ると考えております。</p>

団体名	所在地	事業名	事業概要
N-Style 968	栃木県	小さな暮らしの共同体	今後の見通しがたたない状況下において、児童虐待、自殺などが増えている現状に対応していくために、助け合いのコミュニティーをつくり、お互いに子どもを見守り育てていく環境を構築していく。そのために現在行っているコミュニティ食堂やスキルアップ講座、コミュニティ作り勉強会、マルシェなどをリアル開催とオンライン開催を併用しながら、安心できる場、学びの場としてのコミュニティ事業を行う。さらに他県の同じような団体とつながることで最終的には全国的に孤育てからの脱却を図っていく。
特定非営利活動法人キーデザイン	栃木県	不登校相談窓口支援と居場所つなぎ支援	①個別のLINE相談窓口開設、複数人で相談しあう親の会の運営親が気軽に相談できるLINE相談窓口(電話も可)を開設、運営。共に子ども、家族の問題に向き合い伴走する。※現在開設から約1年が経ち、登録者数403名またそのLINE相談窓口利用の保護者から希望者を募り、オンラインで親同士が悩みを共有、相談し合える機会を月1回程度行う。②県内居場所マップの作成県内の子ども・保護者のニーズに対応できる支援機関とネットワークをつくり、県内の居場所を一覧にしたマップを作成する。作成したものは、県内の居場所・中間支援センター、NPO関係、県内各企業、カフェ、飲食店、病院等々に設置し、ひろく周知をはかる。
NPO法人シェアハッピーエール	栃木県	ポストコロナにおける子どもの居場所事業 【副題】 ななめの関係づくり『学びのシルクロード』	地域住民同士の交流機会が激減した現代社会において、子どもたちは他者との交流機会の大部分は『家族』『学校』『塾』を入り口としている。そのため、『教育する側』と『教育される側』という『縦の関係』が大部分を占め、自尊感情が低くなりやすい傾向が見られる。同じ場所で『駄菓子屋』『学習支援』『地域食堂』『体験講座』を日替わりで行うことで地域の大人が安心して子どもを送り出し、子どもたちが『ななめの関係』を構築する交流機会を提供する。この活動を継続することにより子どもたちの自尊感情を高め、多種多様な人々との交流体験を通して非認知能力の向上、社会との接点の増加など子どもの健全育成に貢献する。
特定非営利活動法人とちぎみらいwithピア	栃木県	子育て世代人生の夢再構築プロジェクト 【副題】 ポストコロナめざしてピアセンターの設立	未曾有のコロナ禍の中で感染予防を主軸に抑圧された感情やつながり感消失の危機感で育てにくさを抱えた子育て世代と支援者に焦点を当て、多様な子育て観と消失しかけていた人生の夢の再構築に寄り添いつなぎエンパワメントを支え、ポストコロナの新しい日常を生き生きと生きる力を育み、共感できる仲間と共に住み慣れた地域で集える居場所作りへの意欲を高める。 子育て世代と彼らを支える保健師・助産師・保育士・児童福祉等々の支援者及びコロナ禍の子育てに関心のある者も含めて対象とし、1. オンデマンド方式による多様な子育て観公開研修会、2. リフレッシュママ（パパ含）クラス®、3. 子育て世代ピアカフェを実施する。
特定非営利活動法人子どもの育ちを応援する会	栃木県	NPO法人子どもの育ちを応援する会	子どもお弁当配布事業、共英小朝カフェ事業、家庭訪問支援相談援助事業

団体名	所在地	事業名	事業概要
特定非営利活動法人風車	栃木県	子供たちのための無料の学習支援	<p>現在活動している居場所「風の家」において現役大学生や教職経験者による無料の学習支援を通して不登校や引きこもりになっている子供たちが学習の遅れを少しでも取り戻してもらおう。</p> <p>また、貧困問題や何らかの理由で塾に通えない子どもたちの支援に繋げる。</p> <p>勉強だけでなく、様々な悩みを話せる居場所の役割も担う。</p>
特定非営利活動法人フードバンクうつのみや	栃木県	<p>コロナ禍対策きずなセット提供プロジェクト</p> <p>(副題) 栃木県内フードバンク団体の相互連携強化</p>	<p>2021年7月から2022年2月までの期間中に全7回の主催食品提供企画を実施しての生活困窮者支援を行うと共に食品ロス削減への貢献。当団体の「総合相談支援」や「情報発信」のノウハウを他団体に提供するための栃木県内のフードバンク団体・支援団体・活動に興味がある人を対象に行う勉強会の開催。栃木県・県内自治体・社会福祉協議会などを対象に行う勉強会の開催。2022年度以降は3ヶ月に1度発刊することを目標としての「栃木県内のフードバンク団体について」の情報誌を創刊する。宇都宮市泉が丘支所の地域支援拠点としての食品提供機能強化。</p>
<p>特定非営利活動法人那須高原自然学校</p> <p><コンソーシアム申請></p>	栃木県	<p>自然体験を取り戻そう！！</p> <p>(副題) ～とちぎの未来を背負う子どものために～</p>	<ul style="list-style-type: none"> ●県内の子どもたちに、コロナウイルス感染対策をとりながら、日帰り型、宿泊型の自然体験活動の機会を届ける（全ての子どもたちの成長を支える） ●経済的に困窮している家庭の子どもたちも自然体験活動に参加できるように、子ども支援団体とも連携し仕組みをつくる（子どもたちの、体験の格差をつくらない） ●今後も県内での自然体験活動が続いていくように、実施団体の不安や課題の共有、今後の連携について検討するフォーラムを実施（自然体験活動団体の存続率を高める）